

(別紙2)

## 2. 目標達成計画

グループホームふも

作成日 令和元年10月8日(火)

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域のふれあいについてふれあい喫茶など定期的に参加しているが、まだまだ地域との交流が少ない。	今後も継続して地域のイベント参加、また世代間交流などを意識とした地域との交流に積極的に参加していく。	自治会に加入し、定期的に開催されているふれあい喫茶、100さい体操、認知症カフェの継続、また世代間交流など地域のイベントへ積極的参加、地元ボランティアへ協力を求めて新たなイベントを生み出していく	3ヶ月
2	3	運営推進会議を生かした取り組みをしているが家族様及び地域の方々、また多方面の専門職の方々の参加が少ない。	運営推進会議で利用者様、家族様、地域の方々、他方面の専門職の方々を交え、積極的な意見交換しサービスの向上を目指す。	家族様、地域の自治会、他方面の専門職(消防署員や警察官、医療従事者など)の参加招致など、より一層努める。また民生委員の方やその他、様々な専門職の方の参加を求めて支援の輪を広げる。	3ヶ月
3	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映が少し足りない部分が見受けられる。	家族様の電話連絡時、事業所訪問時に気軽に意見、要望、相談が出きるように開かれた、風通しの良い施設になるように一層、全スタッフが努めていく。	家族様の電話、面会時に適切な対応、コミュニケーションを図り要望を聞き取る。また定期的な事業通信等のツールを利用し、施設の理解を深めていただく。	3ヶ月
4	9	利用者の思いや、意向の把握について、本人意向にできるだけ寄り添えるように現場で積極的に接しているが、まだ少し足りない部分が見受けられる。	法人理念の多民族共生社会を意識した、利用者様の思いや意向の把握に力を入れ、在日外国人の利用者様にも寄り添える環境を構築し重度の利用者様にも生活暦と現状を比較しながら意向把握に努め、全スタッフが利用者様を理解し寄り添えるようにする。	ケアプランを活用し利用者様の願いや望みなど日々把握しながら、利用者様のなりたい姿を引き出す力を全スタッフが持てるよう研修、日々の指導に努める。色々なイベントなども活用していく。	3ヶ月
5	13	防災訓練については年2回行っているがスタッフの少ない夜間を想定した避難訓練、地域との連携としての避難訓練など、より強化した訓練が必要	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との連携、協力体制をより一層の強化。	日中と夜間を想定した訓練を年2回の訓練で交互に行う。また運営推進会議などで消防職員の参加にも協力していただき、災害対策の強化を図る。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。